項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	静岡大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	シズオカダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F122110106224
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	静岡県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	農学部
	担当教職員名・役職	一家崇志：准教授
	受講者数実績年度	令和2年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	2
	受入企業等数	2
	受入企業等名	記載しない(企業の了解を得ていないため)
	インターンシップの分類	9.中小企業でのインターンシップ
		10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
		2.企業等における課題の解決（例：ワークショップ、ＰＢＬ型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等）
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	学外の工場、研究所において生産、品質管理、研究開発等の現場実体験や、官公庁において行政のしくみや内容を学び、体験見学することを通して、社会における農学分野の役割を学ぶ。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	6.当該インターンシップは、選択科目として実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学　学部３年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学　2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	学部3年生以上を対象に、5日以上の就業体験を行い単位認定に必要となる事前、事後学習を受講し条件を満たしたものに単位を付与する。
	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている
		2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
		3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている

要素③		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
		3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	動画視聴によるインターンシップガイダンスおよび事前研修会により、インターンシップの現状と課題を理解するとともに、目標立てと評価の意義を理解し、参加目的にそった目標を自ら立てる力を養う。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	動画視聴による事後研修会により、評価の意義、成果や気づきを論理立てて伝える方法を理解し、成果や気づきをまとめる。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	事前に実習の計画届、事後に体験レポートを作成。その後の事後研究会において、教員とともに学生が作成した計画届やレポートをもとに振り返りを行うことで学生の意識や行動の変容について確認を行っている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	5日以上(30時間以上)
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	事前、事後学習とは別に5日間以上の就業体験を実施する。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	大学で作成した実習評価シートをもとに学生の実習中の態度や行動を評価していただいている。それをもとに、科目の成績の判定を行っている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://syllabus.shizuoka.ac.jp/
問	大学等名	静岡大学
	担当部署名	農学部学務係

…い合わせ先	担当者役職名	係員
	担当者氏名	小塚鉄太
	電話番号	054－238－4816
	メールアドレス	kozuka.tetta@shizuoka.ac.jp